

平成 27 年 7 月 17 日  
原子力安全対策課  
( 2 7 - 0 6 )  
<17 時 30 分資料配付>

## 高速増殖原型炉もんじゅ非常用ディーゼル発電機 B 号機 シリンダヘッドインジケータコックの変形について

このことについて、原子力研究開発機構から下記のとおり連絡を受けた。

### 記

高速増殖原型炉もんじゅ（高速増殖炉；定格電気出力 28.0 万 kW）は、停止中の 7 月 17 日 14 時 20 分頃、3 台（A、B、C）ある非常用ディーゼル発電機※<sup>1</sup>のうち、B 号機の分解点検中※<sup>2</sup>、ディーゼル機関のシリンダヘッド（重さ約 450kg）を吊り上げた際、約 3 m の高さから落下した。

その際、落下したシリンダヘッドが、潤滑油配管に接触し、シリンダヘッドのインジケータコック※<sup>3</sup>および潤滑油配管が変形した。なお、潤滑油配管からの漏えいは認められていない。

なお、本事象による、負傷者はなく、環境への影響もない。

今後、事象が発生した原因について調査を実施する予定である。

※ 1：外部電源が喪失した際に、プラントを安全に停止させるために必要な機器に電源を供給する設備

※ 2：（ディーゼル発電機の保安規定の運転上の制限）

原子炉停止中は、非常用発電機 2 台が動作可能であることが求められており、今回、A および C ディーゼル発電機は自動待機中であり、この要求事項を満足している。

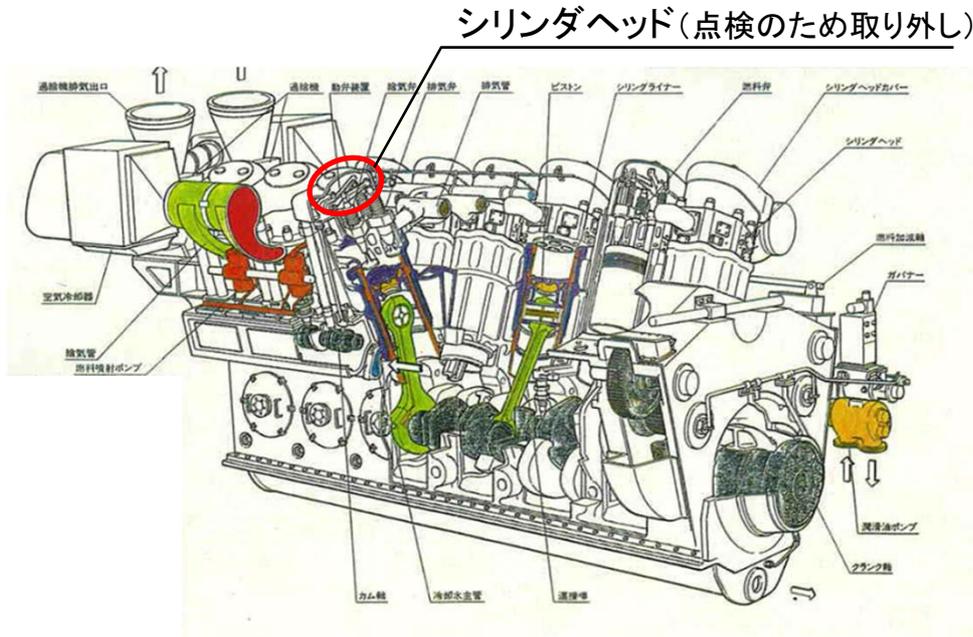
※ 3：起動前の準備として、シリンダ内に溜まったガスを排出する弁

問い合わせ先

原子力安全対策課(担当：有房)

内線2353・直通0776(20)0314

# 高速増殖原型炉もんじゅ非常用ディーゼル発電機B号機 シリンダヘッドインジケータコックの変形について



[ディーゼル発電機機関]



[潤滑油配管]



[インジケータコック]